



お客様プロフィール

株式会社タイムテーブル様

◎名刺・ショップカードをはじめ、チラシ、パンフレット、封筒、時刻表などの印刷・デザイン制作をされています。

◎納入年月：2018年6月

「きりっ子MC-22T」導入の経緯

株式会社タイムテーブル様は、2006年の創業当初は、グラフィックデザインをメインに事業展開されていましたが、内製化の一環として10年ほど前からきりっ子を導入していただき、名刺の作成を始められました。

現在ではオンデマンド機も導入されており、印刷とデザインのお仕事の割合は半々くらいとのことでした。

ご導入のきっかけは、数年前から使用されていた名刺カッターが、用紙のジャムが多発し始めたため、買い替えを検討していたところ、2018年2月のpage2018展示会で、きりっ子の新製品が発売されることをご知りになり、同年の6月に「MC-22T」をご導入いただきました。



～松岡社長インタビュー～

Q.導入する際の決め手を教えてください。

弊社では白インクの名刺を多数作成しておりますが、従来のきりっ子では白インクのマークを読み取ることができませんでした。

しかしMC-22Tでは白インクをマークセンサーで読み取ることが可能とのことでしたので、その点が一番の決め手になりました。

●株式会社タイムテーブル 代表取締役社長
松岡様

「きりっ子MC-22T」が活躍しています！

多様なカードサイズ・
多彩な用紙色に対応
デザインワークの
可能性が広がる！

～松岡社長インタビュー～

Q.主にどのようなお仕事にMC-22Tをご使用されていますか？

弊社では白インクを使ったクラフト紙、黒紙の名刺や、厚紙の名刺を多数作成しております。お客様も一般企業から飲食店、サービス業など様々な業種の方々から注文を頂いております。



導入ポイント

- ・白インクをマークセンサーで読み取ることができる
→白インクの名刺の作成が多いため、導入の決め手となった。
- ・多彩な用紙や多様なサイズに対応している
→幅広い業種の名刺やカードの注文が受けられて、ビジネスチャンスが広がる。

<納入機器> きりっ子「MC-22T」
※2019年3月現在は、後継機のきりっ子「MC-22T Plus」を販売中。

導入効果

MC-22Tを導入したおかげで、白インクの読み込みが可能になり、カット精度も申し分ありません。また、300kg以上の厚紙も問題なくカットできています。

MC-22Tを導入してからはトラブルもほとんど無くなり、機械自体の稼働率も以前より上昇しました。

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

本 社 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

URL : <http://www.iwatsu.co.jp/>